



公益財団法人 日本少年野球連盟
BOYS LEAGUE



fosekift
Challenge links to support

FoseKift presents

第30回 協会長杯争奪大会



期 間：2023年7月1日（土）・2日（日）・8日（土）・9日（日）

●使用球場

上石津ふれあいグラウンド
夜明け前スタジアム
輪之内アポロスタジアム
岐阜ファミリーパーク野球場
ほか

●主 催

（公財）日本少年野球連盟 岐阜県支部

●特別協賛

FoseKift 株式会社

大会役員

大会会長	村瀬恒治	大会顧問	(公財)日本少年野球連盟
大会委員長	澤田和尚	名誉会長	藤田英輝
大会運営委員長	石川孝信	会長	惣田敏和
大会事務局長	河村代之	副会長	工藤眞一
大会事務局	大暮和幸	専務理事	大富肇
大会特別相談役	二村尚彦	常務理事	岡陽一
大会会計部長	足立修身	常務理事	飯田研二
大会会計	梶村敦子	常務理事	吉岡正人
大会総務	武藤善彦	特別相談役	堀内健
〃	大浦正彦		
〃	今田陽士	大会相談役	中日本ブロック長
大会広報部長	青木幹樹	理事	松本行弘
大会広報	岡本和男	理事	伊藤裕章
〃	杉山淳	理事待遇	榊原隆宏
大会運営委員	植地一喜	理事待遇	杉浦真一
〃	大西雄児	理事待遇	伊藤大輔
〃	大野秀一	理事待遇	松尾勝
〃	大橋和博	理事待遇	藤本善一
〃	大森啓介		
〃	奥田浩二		
〃	小澤淳二		
〃	葛西勉		
〃	国枝義孝		
〃	高木勇人		
〃	田中秀治		
〃	津田明春		
〃	宮部恵介		
〃	宮部博幸		
〃	若狭洋玄		
大会審判長	吉村新悟		
大会副審判長	成瀬正敏		
〃	武藤信一		
〃	児玉修司		
大会審判員	岐阜県支部審判員		

大会規定

- 1 1チームの登録選手は11名以上25名以内とする。但し、ベンチ入りは20名以内。
- 2 出場選手は本大会登録締切日現在において連盟へ登録済みの者に限る。
- 3 審査証は当年度発行のものに限る。
- 4 オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチおよびマネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上でベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者不在の場合は試合できない。
- 5 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。
- 6 監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7 試合開始時刻60分前に試合場に到着し、所定の審査を受け、直ちにオーダー表5部と投手投球数記録(副)を本部に提出しなければならない。
- 8 オーダー表交換時に監督、審判員立会いのもと両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 9 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10 試合方法など
 - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2) 4回終了時(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は、4回表終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 11 (1) 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする
連続する2日間で80球を超えた場合は3日目は投球を禁止する。また3連投(連続する3日間)する場合は1日40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止とする。
 - (2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
 - (3) (1)～(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
 - (4) 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない。
 - (5) ボークは投球数としない。
 - (6) 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。
 - (7) ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球した事とする。また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。
- 12 (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の合計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
 - (2) 守備の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
 - (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 14 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの運用についての確認は認める。
- 15 監督またはコーチが投手に指示などをするときは、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17 ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。

- 18 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 19 各チームが同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2組を備えること。
- 20 ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 21 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 22 グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 23 ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 24 光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 25 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 26 令和5年5月8日連盟発出 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを遵守すること。

参 考

野球規則7. 01(4)

7. 02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が終わらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

【タイブレーク実施細則】

(1) 特別規則

- (イ) 延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
- (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。
- (ニ) この場合の代打および走者は認められる。

(2) チーム及び個人記録

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点としない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

野球用品は、すべて連盟指定業者のものを使用することが義務付けられています。

「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

1, レギュラーの試合での登板は下記のとおり制限する。(3年生以下)

- (1) 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。
連続する2日間で80球を超えた場合は3日目は投球を禁止する。また3連投(連続する3日間)する場合は1日の投球数を40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止とする。
- (2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- (3) (1)～(2)を基本原則とするが、打席の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- (4) 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない。
- (5) ボークは投球数としない。
- (6) 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。
- (7) 申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする

2, ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球した事とする。

また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

3, 練習中の投球数は1日70球以内、週350球以内とする。

また、週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事。

	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	第六日	備考
投手A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。(打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	80	0	80	一日目80球、二日目40球で連続する2日間で120球となったため、三日目は投手・捕手として出場できない。(※また、2日間で80球を超えているので三日目は捕手として出場できない規定もある。投手D参照)
投手C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板した場合は、四日目は投手・捕手として出場できない。 四日目が休みだったので、五日目80球、六日目40球の投球は可能。
投手D	40	45	休	30	60	休	一、二日目で80球を超えたため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四、五日目で連続する2日間で80球を超えているため、六日目の3日間連続登板および捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	80	0 40	休	一、二日目で40球以内の3連投をしているため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四日目は80球のため五日目は投球した時点から1試合目に登板していき連続する2日間で80球を超えるため六日目は投手・捕手として出場できない。
投手F	30 50	休 ※捕手可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投できないが、※連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。
投手G	40 40	0 40	休	0 40	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は次の日は投手・捕手として出場できない。1日目、2日目、5日目の第2試合においては、「打者途中で制限数を迎えた場合のみ」打者終了まで投げて球数(40以上)はカウントしない。
投手H	40 40	40 休	休	40 0	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。 1日目の1試合目、4日目の1試合目、5日目の1試合目は1日の投球数の上限数に達していないため、「打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。」は適用しない。

※打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。

※数字は投球数。「休」は投手・捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（各球場）

1 球場到着時

- (1) 試合開始1時間前に球場に到着すること。早く到着しないこと。
- (2) 本部への挨拶は行わず、チーム責任者が到着した旨を本部に伝える。
チーム責任者は参加者を『新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿』等で管理し把握しておくこと。
チーム責任者は球場運営責任者の指示に従い対応する。(各会場により自治体から指導されている内容が異なるため)
- (3) 本部よりチーム責任者に消毒液等の設置場所を伝える。
- (4) マスクの着用は原則、個人の判断に委ねる。

2 球場入場時

- (1) 球場入場時にアルコール消毒を実施する。
- (2) 原則試合終了後に前試合の選手全員が退場しましたら、選手通路から間隔を空けて球場に入る。
道具についてはベンチ横に置いて試合開始準備を行う。
- (3) ベンチ内の役員、指導者、選手のマスク着用は原則、個人の判断に委ねる。
- (4) ベンチに入った時に一度、ソーシャルディスタンスの確認をする。(チーム責任者/指導者が確認する)
- (5) 第2試合目以降のチームについては、前試合の選手全員が退場するまでベンチに入らない。
- (6) 試合前審査は、横との距離を1m程度あけ整列して行う。但し、選手は氏名、生年月日を発声しないで、審査証を右手で見えるように審査者に向けて審査を受ける。

3 試合開始、試合中

- (1) 試合開始、終了の挨拶は対戦相手と2m以上あけてホーム前に整列し、声を出さずに礼をもって挨拶とする。
- (2) 捕手の防具は基本的に自ら装着する。時間短縮のため補助者を認めるが装着後、補助者は必ず手指の消毒をすること。
- (3) 飲み物は一人一人のペットボトルや水筒を使いチームジャグでの回し飲みは禁止とする。

4 試合終了後

- (1) 試合終了後は速やかにベンチを空け、各チームで責任を持って消毒用アルコールで消毒をする。
(その際に保護者の協力については可とする)
- (2) 試合終了後は密を避けるために、本部への挨拶は行わず、速やかに球場から解散する。
(ミーティング等を行わない)
なお、ダブルヘッダーで出場する場合は、球場責任者の指定する待機場所で、感染防止対策を講じて次の試合まで待機する。

5 球場スタンド・応援

- (1) 各会場の観戦ルールに従い、スタンドにおいても、ソーシャルディスタンスを確認すること。
- (2) 試合終了後は、応援チームでスタンドの清掃、消毒を行い、速やかに球場から移動を行う。
用具、消毒液等は各チームで用意する。

6 大会期間中

- (1) 大会期間中、選手またはチーム関係者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者が主催者に対して速やかに報告すること。

本大会を開催するにあたり、コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守し、選手ならびにチーム関係者を感染から守り、大会に参加し野球ができることに感謝し、円滑な大会運営にご理解、ご協力をお願いいたします。

歴代 優勝・準優勝チーム

		優 勝	準 優 勝
第 1 回	1994	岐阜クラブ	
第 2 回	1995	岐阜クラブ	
第 3 回	1996	岐阜少年レッズ	
第 4 回	1997	岐阜ビクトリーズ	
第 5 回	1998		
第 6 回	1999	岐阜東ボーイズ	
第 7 回	2000	岐阜少年レッズ	
第 8 回	2001	西濃ボーイズ	
第 9 回	2002	岐阜少年レッズ	
第 10 回	2003	羽島ウインズ	岐阜クラブ
第 11 回	2004	羽島ウインズ	岐阜少年レッズ
第 12 回	2005	関スターズ、岐阜クラブ	両チーム優勝
第 13 回	2006	岐阜ビクトリーズ	大垣ボーイズ
第 14 回	2007	岐阜少年レッズ	可茂ボーイズ
第 15 回	2008	岐阜東ボーイズ	岐阜北ドリームス
第 16 回	2009	羽島ウインズボーイズ	中濃ドリームボーイズ
第 17 回	2010	岐阜クラブボーイズ	東濃フレンズボーイズ
第 18 回	2011	中濃ドリームボーイズ	可茂ボーイズ
第 19 回	2012	岐阜ビクトリーボーイズ	中濃ドリームボーイズ
第 20 回	2013	大垣ボーイズ	陶都ボーイズ
第 21 回	2014	関ボーイズ	岐阜中央ボーイズ
第 22 回	2015	関ボーイズ	大垣ボーイズ
第 23 回	2016	岐阜中濃ボーイズ	岐阜可茂ボーイズ
第 24 回	2017	岐阜北ボーイズ	岐阜中央ボーイズ
第 25 回	2018	岐阜東ボーイズ	岐阜南ボーイズ
第 26 回	2019	西濃ボーイズ	揖斐本巣ボーイズ
第 27 回	2020	コロナ感染症対策のため中止	
第 28 回	2021	岐阜東ボーイズ、岐阜中濃ボーイズ	両チーム優勝
第 29 回	2022	岐阜東ボーイズ	岐阜中津ボーイズ
第 30 回	2023		

FoseKift presents 第30回協会長杯争奪大会 メンバー表

1 岐阜南ボーイズ

代表監督	青木 幹樹	
コーチ	吉川 好	
マネージャー	守屋 毅 佐藤 豊	
背番号	選手氏名	学年
主将 31	柳生 望来	3年
4	小川 蒼生	3年
6	小川 空来	3年
11	大橋 侑人	3年
17	阿曾 蒼生	3年
21	伊藤 蒼輝	3年
23	河村 旭陽	3年
28	荒木 快斗	3年
29	河合 俊哉	3年
30	南都 大夢	3年
35	服部 真大	3年
37	河口 翔音	3年
41	森 遼介	3年
44	安藤 颯亜	3年
65	西脇 律希	3年
66	佐藤 寿樹	3年

2 岐阜ボーイズ

代表監督	大橋 和博	
コーチ	内山 幹生	
マネージャー	中山 秀樹 近藤 誠子	
背番号	選手氏名	学年
主将 10	坂口 稀英	3年
1	田中 亮磨	3年
2	近藤 大晴	3年
3	大牧 愛蓮	3年
4	関谷 哉来	3年
5	古賀 圭真	3年
6	杉山 煌介	3年
7	野田 陽斗	3年
8	小嶋 蒼矢	3年
9	後藤 悠月	3年
11	黒田 成修	3年
12	酒井 美煌	3年
13	田中 大暉	3年
14	戸星 壮真	3年
15	田中 暖馬	3年
16	國保 綾太	3年
17	坂井田 大和	3年
18	内山 大誠	3年

3 岐阜中央ボーイズ

代表監督	大森 啓介	
コーチ	吉口 晶	
マネージャー	高森 秀明 下野 裕明	
背番号	選手氏名	学年
主将 24	餌取 辰乃助	3年
0	川島 有尋	3年
1	外川 煌空	3年
3	森 蒼葉	3年
4	森川 翔太	3年
5	浅井 寿音	3年
6	坂本 一護	3年
7	川合 勝宗	3年
8	松家 侑志	3年
9	眞 鍋 柊	3年
11	下野 晴生	3年
13	鶴飼 真羽	3年
18	木村 飛羽	3年
19	村田 洋	3年
29	佐藤 圭吾	3年
30	杉浦 英怜	3年
33	重田 賢伸	3年
55	清水 大晴	3年

4 岐阜東濃ボーイズ

代表監督	葛西 勉	
コーチ	山川 裕司	
マネージャー	大野 幹士 清水 美香子	
背番号	選手氏名	学年
主将 3	小倉 圭祐	3年
1	大野 翔貴	3年
2	野原 一馬	3年
4	稲垣 雄大	3年
5	小幡 孟史	3年
6	稲熊 桜史	3年
7	加藤 隆仁	3年
8	森 勇翔	3年
9	清水 玲央	3年
10	井上 晴日	3年
11	岩島 煌成	3年
31	森 駿太郎	1年
36	山口 輝也	1年
37	田口 航大	1年
39	安保 太牙	1年
40	杉村 栄洵	1年
41	日室 壱心	1年
44	加藤 玲頼	1年
45	野村 哉太	1年

5 大垣ボーイズ

代表監督	宮部 博幸	
コーチ	近藤 匡克	
マネージャー	矢野 紘基 和田 香紅	
背番号	選手氏名	学年
主将 24	北川 瑛都	3年
3	水谷 嘉人	2年
6	山内 理子	3年
7	和田 一平	3年
8	大橋 将伍	2年
10	安村 太志	2年
11	水谷 蒼波	3年
12	児玉 慎之助	2年
13	近藤 空	2年
14	高木 毘呂	2年
17	三輪 悠夏	2年
20	葛谷 紘正	3年
23	栗田 檜一	2年
35	岡田 遥希	2年
36	山田 晴太	2年
39	安本 理矩	2年
41	川尻 虎之介	2年
44	小川 誠悟	2年
51	酒井 璃飛	2年
55	大越 凱翔	2年

6 岐阜可茂ボーイズ

代表監督	高木 勇人	
コーチ	牧野 剛太	
マネージャー	切島 聡弥 柘植 紀和	
背番号	選手氏名	学年
主将 22	上田 遥斗	3年
1	小林 辰義	3年
2	今井 亮輔	3年
3	柘植 蓮斗	3年
4	吉田 菊杜	3年
5	牧野 泰心	3年
6	長谷川 貫太	3年
7	日比野 悠人	3年
8	高木 優樹	3年
9	佐藤 悠馬	3年
11	上田 一颯	3年
17	塩田 大裕	3年
18	金武 昂明	3年
21	山藤 迅	3年
24	配藤 侑士	3年
51	白田 煌飛	3年

7 岐阜中津ボーイズ

代表監督	岡本 和男	
コーチ	水野 尊文	
マネージャー	山本 時政 水野 ひと美	
背番号	選手氏名	学年
主将 64	櫻木 虹太	3年
61	古田 遥暉	3年
62	本多 裕貴	3年
63	木村 綜志	3年
65	松尾 杜和	3年
66	水野 立登	3年
67	伊藤 連珠	2年
71	左右木 壮琉	2年
73	三尾 斗愛	2年
80	川上 眞	2年
85	植村 心結	2年
87	小栗 幸也	2年
88	柴田 惇斗	2年
99	三浦 好誠	2年

8 岐阜羽島ボーイズ

代表監督	若狭 洋玄	
コーチ	田谷 幸治	
マネージャー	河合 裕 近藤 洋平	
背番号	選手氏名	学年
主将 66	伊藤 貴仁	3年
5	浅野 颯介	1年
8	野村 悠晴	3年
9	浅井 颯良	3年
10	浅野 皇騎	3年
15	古川 遼真	3年
18	西脇 友誠	3年
19	石ヶ崎 来玖	3年
23	近藤 瑛佑	3年
27	島 隆真	3年
34	服部 樹	3年
39	伊藤 大陽	1年
54	則武 亜龍	3年
86	木村 凌	3年

FoseKift presents 第30回協会長杯争奪大会 メンバー表

9 下呂ボーイズ

代表監督	奥田 浩二	田口 泰久
コーチ	丹羽 幸司	下町 竜二
マネージャー		
背番号	選手氏名	学年
主将 62	牧本 大誠	3年
0	蒲 拓磨	1年
5	丹羽 絢也	3年
8	坂本 大翔	3年
9	小林 櫻大	3年
11	今井 絢心	3年
13	下田 一心	3年
23	松下 兼三	1年
31	下町 飛雅	3年
41	上野 純平	3年
51	田口 碧人	1年
55	大江 奏富	3年
77	坂本 悠真	1年
92	牧本 瑛汰	1年

10 岐阜青山ボーイズ

代表監督	足立 修身	脇田 友和
コーチ	大塚 泰造	田中 猛
マネージャー		
背番号	選手氏名	学年
主将 25	高橋 遼	3年
1	宮 崙	3年
2	福久 武知	3年
3	平野 山翔	3年
8	木村 悠真	3年
9	中島 凌来	3年
11	田中 渚	3年
14	吉田 翔涼	3年
17	堀 翔太郎	3年
19	竹岡 大貴	3年
26	山田 桐雅	3年
29	中田 伊織	3年
45	太田 翔也	3年
47	松田 桜和	3年
49	猿 渡侑弥	3年
71	石原 巧翔	3年
77	鈴木 琉虎	3年

11 飛騨高山ボーイズ

代表監督	田中 秀治	黒木 博也
コーチ	長谷川 晃士	新井 健作
マネージャー		
背番号	選手氏名	学年
主将 51	岨ノ下 健翔	3年
0	新井 和	3年
3	野首 奏介	3年
4	平子 陽一	3年
5	花川 仁飛	3年
7	水口 虎河	3年
9	青木 志葉	3年
11	青山 瑞来	3年
13	上田 真大	3年
18	杉本 世椰	3年
23	久保 優真	3年
26	新井 悠作	3年
34	田島 千照	3年
37	南 健太郎	3年
55	渡辺 京介	3年
77	道下 仁也	3年

12 陶都ボーイズ

代表監督	杉山 淳	後藤 清隆
コーチ	高橋 真悟	後藤 敦代
マネージャー		
背番号	選手氏名	学年
主将 25	坂崎 一太	3年
1	武知 然	3年
2	橋本 健造	3年
3	矢ヶ部 光央志	3年
4	菊池 博斗	2年
5	中村 葵	3年
6	岩原 斗輝	2年
7	佐伯 駿允	2年
9	加藤 壮真	2年
10	佐々木 瑠希	3年
22	西尾 心太郎	3年
27	小荷田 匠真	3年
33	小嶋 陵太	2年
51	杉山 昂太郎	2年
72	後藤 裕斗	3年
75	河内 志大	2年
76	藤 陣之介	2年
88	酒井 嶺	2年

13 関ボーイズ

代表監督	小澤 淳二	額 芳伸
コーチ	花室 典幸	上野 真哉
マネージャー		
背番号	選手氏名	学年
主将 3	久保田 啓太	3年
0	鈴木 爽太	3年
5	林 聖翔	3年
6	中田 翔太	3年
7	内山 元太	3年
8	瀧戸 輝星	3年
9	長尾 汰真	3年
10	長尾 旬	3年
12	安藤 太一	3年
15	船戸 琥太郎	3年
17	上野 哲平	3年
21	佐藤 康成	3年
22	後藤 生真	3年
23	佐伯 怜音	3年
26	本田 駿平	3年
29	平下 泰夢	3年
31	間宮 大葵	3年
33	鷺見 侑臥	3年
41	藤田 翔瑠	3年
51	川村 凌久	3年
55	東 琉乃	3年
62	面 手歩	3年

14 西濃ボーイズ

代表監督	植地 一喜	上田 佳宏
コーチ	山本 孝史	宮脇 憲輔
マネージャー		
背番号	選手氏名	学年
主将 27	近澤 快飛	3年
8	森谷 岳	3年
9	田中 聖覇	3年
17	青木 諒	3年
20	上田 悠斗	3年
25	宮脇 崇輔	3年
26	吉田 来夢	3年
28	中島 慶	3年
30	嶋田 飛龍	3年
33	篠田 矜生	3年
36	鈴木 秀治	3年
41	若原 隼	3年
51	若原 涉斗	3年
55	坂下 千絃	3年
77	堤 康惺	3年

15 揖斐本巣ボーイズ

代表監督	国枝 義孝	岡本 吉守
コーチ	小川 直樹	佐藤 光寿
マネージャー		
背番号	選手氏名	学年
主将 15	安藤 歩叶	3年
0	村瀬 遠和	3年
4	山本 凜空	3年
5	後藤 諒成	3年
6	後藤 久輝	1年
8	足立 颯真	3年
9	古川 蒼祐	1年
10	水木 陽心	1年
11	高瀬 優太	3年
16	久世 修平	1年
17	小川 輝也	3年
18	後藤 駿青	3年
21	藤井 皓太郎	3年
22	渡部 一真	3年
23	松村 太智	3年
33	高橋 良汰	3年
51	佐藤 新大	3年
66	河村 連太郎	3年
74	武藤 海翔	1年

16 岐阜西ボーイズ

代表監督	石川 孝信	宮川 勉
コーチ	小竹 英宣	清水 博美
マネージャー		
背番号	選手氏名	学年
主将 25	野原 仁	3年
1	加藤 天翔	3年
3	栗原 波光	3年
5	玉井 彪太郎	3年
6	鶴飼 新馬	3年
7	安藤 羽琉真	3年
9	栗原 虎鉄	3年
10	小森 翔	3年
12	吉田 宙叶	3年
16	岩佐 鳳太	3年
17	國江 啓太	3年
21	山田 陸斗	3年
22	清水 敬太	3年
39	河村 龍空	3年
55	別所 壱規	3年
59	豊吉 勝斗	3年
88	三浦 健獅	3年
99	神山 大輝	3年

FoseKift presents 第30回協会長杯争奪大会 メンバー表

17 岐阜笠松ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	大野 秀一 杉本 隆人 白木 孝明 大野 一洋	
背番号	選手氏名	学年
主将 2	吉野 拓海	3年
1	前田 紘亜	3年
3	平田 結聖	3年
7	大澤 和也	3年
8	谷之口 翔琉	3年
9	小塩 都夏	3年
10	楠本 蓮	3年
14	富 柁 凱	3年
17	長屋 太誠	3年
18	加藤 大雅	3年
21	高桑 周雅	3年
26	中村 隼人	3年
29	塚本 新大	3年
41	小野木 奏太	3年
42	土屋 兜羽	3年
57	鈴木 創葉	3年
71	与那覇 麗心	3年
89	小倉 空翔	3年
98	石井 滯穩	3年

18 岐阜東ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	津田 明春 足立 哲也 中村 浩士 松尾 太郎	
背番号	選手氏名	学年
主将 56	國田 詩	3年
6	会津 亮河	3年
8	清水 悠生	3年
9	川島 侑真	3年
13	松尾 大夢	3年
14	中村 晃輔	3年
17	鈴木 開智	1年
19	今井 獅琉	3年
22	渡瀬 友介	3年
24	岩田 佳祐	1年
30	小瀬木 千虎	1年
31	林 威助	3年
52	平光 奏空	1年

19 岐阜中濃ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	宮部 恵介 蛭川 由規 脇坂 朝広 谷口 幸伸	
背番号	選手氏名	学年
主将 10	秋江 駿斗	3年
1	座間 龍斗	3年
3	松原 巧実	3年
6	鈴木 悠太	3年
11	林 新太	3年
12	石丸 和弥	3年
16	渡邊 璃海	3年
17	谷口 泰	3年
18	渡辺 大雅	3年
19	木田 倫大朗	3年
23	荒木 湮	3年
33	細江 脩隼	3年
55	橋詰 琥太郎	3年

20 岐阜北ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	大西 雄児 杉山 政治 福田 栄司 河合 智	
背番号	選手氏名	学年
主将 10	河合 健太	3年
0	松井 滯	3年
1	長屋 瑛土	3年
2	高橋 樟	3年
3	藤井 亮汰	3年
5	石原 秀真	3年
6	松原 竜矢	3年
7	松岡 亮佑	3年
11	鷲見 翼	3年
12	森 奏風	3年
13	橋元 瞬汰	3年
19	藤澤 翔人	3年
22	河合 和真	3年
27	今井 健	3年
29	工藤 耕太朗	3年
33	稲川 宙希	3年
51	川口 聖太	3年
55	真鍋 慧牙	3年
66	早野 塁斗	3年



BOYS LEAGUE

公益財団法人 日本少年野球連盟

岐阜県支部